

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者グループホーム等運営費補助事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が援護を実施している入居者のいる小規模のグループホーム	意図	小規模のグループホーム事業所の適正な運営を確保する。
事業内容	小規模のグループホームの運営に要する経費の一部を補助する。			
事業開始から現在までの状況変化	障害者自立支援法が平成18年10月から完全施行され、グループホームへの報酬毎月割りから日割に変更され、多くのグループホームの運営費は減収となった。それに対し千葉県はグループホームの運営の安定化のため平成19年度から補助を実施。平成20年4月には国の報酬単価が改定されたが依然グループホームの運営は厳しく、県事業としてグループホームの運営に対する補助が継続されている。市もそれに合わせ補助を行っている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		対象施設への入居者数	69	85	70	人	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						グループホームは、障害者の自立した社会生活を促進するための施設であり、障害者が地域で暮らすための社会資源として整備が進み、施設数が増加している。そのため、利用者数も増加しており、それに伴って運営費補助も増加傾向にある。
	事務事業のコスト						
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,909,547	14,562,035	16,994,860			
事業費(b)(円)		10,734,847	13,281,935	14,660,760			
うち一般財源		5,572,060	6,640,968	7,330,380			
職員給与費(c)(円)		1,174,700	1,280,100	2,334,100			
人役・職員(人)		0.17	0.17	0.34			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	新規利用者の把握を正確に行い、利用実績に基づく適正な補助金交付を行う。	取組の課題	対象施設及び、新規利用者が増加しているため、利用実績を基に対象者の把握を正確に行う。
今年度(H28)に実施した取組	国保連からの伝送請求情報を基に、新規入居者を中心とした入退所を正確に把握に行った。また、対象施設の対象経費を精査し、適正な補助金交付を行った。	今後の改善計画	国保連からの伝送請求情報を基に、各月の給付費の積み上げを正確に行うとともに、対象者の把握を正確に行う。